

医療の価値評価を目指すセミナー 2018 「医療価値評価の胎動プログラム」

- **目的:** 社会と医療、経済と医療の関係(あり方)について、広い観点から学術的な議論を進めることを主旨とする。特に、医療の価値(Value of Medicine)を探求し、得られた成果を社会全体で活用する人材の育成を目的とする。
- **対象:** 上記趣旨に関心のある医療従事者、関連学生、企業就業者、行政従事者など
- **時期:** 2018年10月～2019年3月(計18回)
- **場所:** 東京大学医学部附属病院内および大学構内
- **日程:** 水・金曜日18時以降予定(前年度と概ね同様)
- **会費:** 1名につき税込22,000円 (シンポジウム参加費は別)
- **参加条件:**
 - ① 基本的に、全ての開催日程に出席を予定する方
 - ② 事前に参加者登録した方に限る(8月31日までに申し込み)
 - ③ 一定条件の参加者に、PG修了書の発行を予定



【備考】

- 遠隔地(関東1都6県外)の受講者はeラーニング環境での参加も可能です。
- プログラムの構成は適宜変更をされる場合があります。

【補足】

- 諸条件を満たせば、ビックデータによる実際の研究と連携したOJT研修のプログラムを実施することも可能であります(詳細は別途)。

■ 主催: 東京大学大学院医学系研究科 医療経済政策学講座 ■

『お問い合わせ先』

医療価値評価の胎動プログラム事務局 URL: <http://plaza.umin.ac.jp/hehp/seminar.html>

電話: 03-5800-9523 FAX: 03-5800-8948 Mail: value-s@umin.ac.jp
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学 大学院医学系研究科 医療経済政策学講座内

医療価値評価の胎動プログラム

本プログラムの主旨



2017年度より、東京大学大学院医学系研究科の医療経済系の講座に関わる有志が、医療の価値評価を目指す「医療価値評価の胎動プログラム」を試行的に始めています。本プログラムの具体的な目標として、例えば、以下のような医療経済評価の研究成果を創出するのに必要となる各種知識の修得やノウハウの研鑽を行う機会の提供を標榜しつつ、当該分野のリーダーシップ人材の輩出や関連するエビデンスの蓄積の促進を目指しております。

- 医薬品の経済価値評価の例（創薬イノベーションの価値）
 - ・ネイチャーグループ（NPG）の Scientific Reports. (IF:5.228, 2017)
 - ・Cost-Effectiveness of Administering Rituximab for Steroid-Dependent Nephrotic Syndrome and Frequently Relapsing Nephrotic Syndrome: A Preliminary Study in Japan.
(Tomoyuki Takura, Takashi Takei, Kosaku Nitta)
- 医療機器の経済価値評価の例（重症患者の救命価値）
 - ・日本人工臓器学会オフィシャル雑誌の J Artif Organs. (IF:1.438, 2015)
 - ・Preliminary report on the cost-effectiveness of ventricular assist devices.
(Tomoyuki Takura, Shunei Kyo, Minoru Ono, et al)

プログラムの詳細は、添付のセミナー構成などをご覧頂ければ幸いです。価値評価の基本概念や臨床経済評価の理論と手法（費用対効果分析も含む）、医療技術の経済価値評価のケース（医薬品と医療機器等）、医療分野における価値評価の問題（研究倫理）などを体系的に修学することを標榜しております。また、ビッグデータ（約400万件×6年間）による実際の研究と連携したOJTプログラムも並走できる特徴も有しています。講師陣には、東京大学内はもとより国内著名大学、厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、統計数理研究所の第一線で活躍される方々を予定しております。

なお、本プログラムのご参加にあたっては、身近な問題意識などを踏まえつつ、事前に、検討したい論点や課題（疑問）の設定をお勧めいたします。本プログラムにおける18回の講義及びシンポジウムの受講過程、またはOJT研究の取組みの中で、是非、その解決や取っ掛かりを見つけて頂ければ有意義と推察します。

多様なチェンジ・ドライバーが顕在化する昨今の医療・介護分野を背景に、本プログラムのそれぞれのコンテンツを自然体で楽しみつつも、今後のご活動の中で、参加によって得られた成果利用の最大化を志向して頂ければ幸いです。

医療価値評価の胎動プログラムの風景(前年度)



(※)2017年度は
約60名が受講



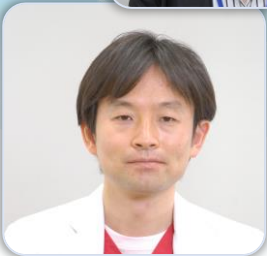
『どのプログラムもわかりやすく、現在の日本の医療経済事情についてよく理解できました。参加者の意識も高く、深い質問による有益な議論も行われ、大変勉強になりました』

独立行政法人医薬品医療機器総合機構
方 眞美 先生



『まるで臨床研修の様に沢山の学びがあり、今後の研究の礎となるプログラムでした』

順天堂大学大学院医学研究科
循環器内科学講座
平野 景子 先生



『限られた医療資源を活用して健康に対する効用を最大化するために、医療者が学ぶべき知識を体系的に学習できる素晴らしいプログラムでした』

群馬大学 重粒子線医学研究センター
洪谷 圭 先生

シンポジウム:OJT研修成果発表(中間報告会)

複数テーマの医療経済学的研究について、発表と闊達な討議が行われました。

	FUCAG- (n= 294)	FUCAG+ (n= 294)	P Value
	11.2%	9.5%	1.0
	¥ 211,682	¥ 316,843	<0.001
	¥ 192,991	¥ 290,527	<0.001
	¥ 28,800	¥ 26,315	0.29
		+105,160	

※ FUCAG+までのイベント費用、費用には薬剤・検査材料費用は含まれていない



第14回講義 討論1(意思決定)講師
写真左より、南学 正臣 先生(東京大学)、田倉 智之 先生(東京大学)、秋野 公造 先生(参議院議員)



『医療資源の適切な配分方法、医療の価値付けについて多角的に学ぶことが出来ました』

スミス・アンド・ネフュー株式会社
福澤 夢佳 様



『医療価値評価を取巻く背景的な内容から費用対効果分析手法まで幅広く学びました』

キッセイ薬品工業株式会社
松木 啓典 様

1. 医療・介護を取り巻く社会経済の動向

- (1) 保険政策: 田村 圭 先生(厚生労働省)
- (2) 薬事政策: 方 真美、小野 昭子 先生(医薬品医療機器総合機構)
- (3) 社会経済政策総論(財政論等、公共制度論含む): 森田 朗 先生
(津田塾大学)

2. 医療分野における価値評価の基本概念

- (1) 行動経済学: 友野 典男 先生(明治大学)
- (2) 価格理論(効用理論等含む): 田倉 智之 先生(東京大学:医)
- (3) QOL分析: 下妻 晃二郎 先生(立命館大学)
- (4) 費用分析: 荒井 耕 先生(一橋大学)
- (5) 価値予測: 砂川 伸幸 先生(京都大学)

3. 医療の経済価値評価の理論と手法

- (1) ビックデータ解析法(事例紹介を含む): 城 大佑 先生(東京大学:医)
- (2) 医療統計学(研究デザイン論を含む): 笹渕 裕介 先生(自治医科大学)
- (3) モデリング手法(ベイズ統計等も交え): 伊庭 幸人 先生(統計数理研究所)
- (4) 費用対効果分析: 鎌江 伊三夫 先生(東京大学:公)
- (5) ソフトウェア応用1(基本): 幡 慎一郎 先生(アドバンスアナリティクス社)

4. 医療分野における経済評価のケース(医療政策と医療技術)

- (1) 事例1(医療技術:分子標的薬等): 武井 卓 先生
(東京都健康長寿医療センター:予定) 等
- (2) 事例2(医療技術:埋込デバイス等): 田倉 智之 先生(東京大学:医)
- (3) ソフトウェア応用2:統計ソフトを用いたハンズオン実習
 - ①コースA:マルコフモデル/モンテカルロシミュレーションによるHTAの実際
 - ②コースB:価格推計(各種ポートフォリオ)におけるリアルオプション等の実際

5. 医療分野における価値評価の問題(留意事項と必要条件)

- (1) 討論1(意思決定): 秋野 公造 先生(参議院議員)、南学 正臣 先生
(東京大学:医)
- (2) 討論2(倫理と振興): 黒木 登志夫 先生(日本学術振興会)

6. シンポジウム

- ・ 総合討論:プログラムの成果報告も兼ねて最後にシンポジウムを開催する

プログラムスケジュール表



講義番号	テーマ構成	概要	講師 (敬称略)	日程・会場
オリエンテーション: 10月3日(水)18時45分~19時30分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂				
1. 医療・介護を取り巻く社会経済の動向				
1	(1) 保険政策	わが国の保険行政(医療材料系)について概観し、今後の方向を読み解く	田村 圭 (厚生労働省)	10月12日(金) 18時00分 会場: 東京大学医学部1号館 1階 講堂
2	(2) 薬事政策	国内外の薬事政策(医療材料系)について俯瞰し、今後の動向を占う	方 眞美、小野 昭子 (医薬品医療機器総合機構)	10月19日(金) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
3	(3) 社会経済政策総論(財政論等、公共制度論含む)	わが国の実体経済を背景に、医療政策の論点や社会保障政策の潮流を解説する	森田 朗 (津田塾大学)	10月24日(水) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
2. 医療分野における価値評価の基本概念				
4	(1) 行動経済学	内外のケースを紹介しつつ、行動経済学の概念や基本理論を解説する	友野 典男 (明治大学)	11月9日(金) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
5	(2) 価格理論(効用理論等含む)	効用水準や選択行動、価格形成の理論を概観し、医療における価格のあり方を論じる	田倉 智之 (東京大学: 医)	11月14日(水) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
6	(3) QOL分析	患者アウトカム評価の動向を踏まえ、健康関連QOLの測定や分析を解説する	下妻 晃二郎 (立命館大学)	11月16日(金) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
7	(4) 費用分析	医療分野における費用の概念と構造、その解析手法や留意点(機会費用等)を共有する	荒井 耕 (一橋大学)	12月5日(水) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
8	(5) 価値予測	医療事業等の付加価値の予測・決定に応用されてきた、DCF/リアルオプション法の最新の理論・手法を論じる	砂川 伸幸 (京都大学)	12月12日(水) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
3. 医療の経済価値評価の理論と手法				
9	(1) ビックデータ解析法(事例紹介を含む)	ビックデータを活用した医学研究の意義と今後の方向性について事例を交え解説する	城 大佑 (東京大学: 医)	12月14日(金) 18時00分 会場: 東京大学医学部1号館 1階 講堂
10	(2) 医学統計学(研究デザイン論を含む)	臨床研究のデザイン検討に関わる知識と最新の統計手法を解説する	笹渕 裕介 (自治医科大学)	12月21日(金) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
11	(3) モデリング手法(ベイズ統計等も交え)	マルコフ連鎖やモンテカルロ法等のシミュレーション技術に関する基本理論を学ぶ	伊庭 幸人 (統計数理研究所)	1月9日(水) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
12	(4) ソフトウェア応用1(基本)	SPSS等を用いた解析アプローチについてケーススタディを行う(多変量解析、傾向スコア、意思決定樹等)	畠 慎一郎 (アドバンスト・アナリティクス株式会社)	1月11日(金) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
13	(5) 費用対効果分析	費用対効果分析の基礎(国際GL)と最新の手法を各種の留意事項とともに解説する	鎌江 伊三夫 (東京大学: 公)	1月18日(金) 18時00分 会場: TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター ホール8C
4. 医療分野における経済評価のケース(医療政策と医療技術)				
14	(1) 事例1(医療技術: 分子標的薬等)	医薬品及び医療機器の経済価値評価(費用対効果含む)の評価事例を解説する	武井 卓 (東京都健康長寿医療センター)	1月25日(金) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
15	(2) 事例2(医療技術: 埋込デバイス等)	医薬品及び医療機器の経済価値評価(費用対効果含む)の評価事例を解説する	田倉 智之(東京大学: 医)、許 俊鋭(東京都健康長寿医療センター)	2月6日(水) 18時00分 会場: 東京大学医学部1号館 1階 講堂
16	(3) ソフトウェア応用2(統計ソフトを用いたハンズオン実習)	サンプルデータでモデル計算(例: マルコフ・モンテカルロ、リアル・オプション)の実際を学ぶ	小寺 聡(東京大学: 医)	2月8日(金) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
5. 医療分野における価値評価の問題(留意事項と必要条件)				
17	(1) 討論1(意思決定)	エビデンスに基づく治療戦略、政策の意思決定に関する議論を行う	秋野 公造(参議院議員)、南学 正臣(東京大学: 医)	2月14日(木) 18時00分 会場: 東京駅周辺で検討中
18	(2) 討論2(倫理と振興)	倫理観に基づく研究推進やイノベーションのあり方について議論する	黒木 登志夫(日本学術振興会)	3月1日(金) 18時00分 会場: 東京大学医学部2号館 1階 小講堂
6. シンポジウム				
	・総合討論	プログラムの成果報告も兼ねて最後にシンポジウムを開催する	—	(予定)3月2日(土) 9時30分 会場: (調整中)

参考:前年度の例

「医療価値評価の胎動プログラム」 シンポジウム

医療価値評価を始めてみよう

平成30年3月17日(土) 9:30~12:30

9:30~9:40

1. オープニング 田倉 智之 先生(東京大学)

9:40~10:40

2. シンポジウム_1「医師技術・病院経営の医療経済価値を考える」

座長:田倉 智之 先生(東京大学)

- ▶ 外科療法などを取巻く診療報酬動向
岩中 督 先生(埼玉県病院事業管理者、外保連会長)
- ▶ 内科診療などの医師技術経済価値
工藤 翔二 先生(結核予防会理事長、内保連代表)
- ▶ 総合討論

10:40~11:20

3. 医療経済価値の評価分析事例の中間報告会

座長:大野 達也 先生(群馬大学)

- ▶ 抗リウマチ生物学的製剤の費用対効果評価
藍野 敬彦 氏(あゆみ製薬)
- ▶ フォローアップ[®]冠動脈造影の医療経済学的研究
平野 景子 氏(順天堂大学)

11:20~11:25

4. 修了証の授与式

11:25~12:25

5. シンポジウム_2

「ビッグデータで医療経済評価のコントロール群を論じるのは可能か」

座長:方 眞美 先生(医薬品医療機器総合機構)

- ・方 眞美 氏(医薬品医療機器総合機構)
- ・野尻 宗子 氏(順天堂大学)
- ・舟窪 美奈子 氏(ノバルティスファーマ)
- ・藤田 克憲 氏(日本メトロニック)

コメンテーター: 田倉 智之 先生(東京大学)

12:25~12:30

6. クロージング 小野 稔 先生(東京大学)

【主催】東京大学 大学院医学系研究科 医療経済政策学講座

【会場】トラストシティ カンファレンス・丸の内

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館11階

【後援】日本再生医療学会、日本IBM

【参加費】1,000円

問
合
せ
先

医療価値評価の胎動プログラム事務局 〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

☎ 電話 03-5800-9523 📠 FAX 03-5800-8948 ✉ Mail value-s@umin.ac.jp

東京大学 大学院医学系研究科 医療経済政策学講座内 <http://plaza.umin.ac.jp/hehp/publication.html#item4-1>